災害を防ぐ森林管理を

～皆伐後、5年以内に植栽～

小野順一（おのじゅんいち）

質 森林の皆伐が進んでいるが、その実態把握と皆伐後の対応は。

答 市長

樹木を伐採する際には、伐採および伐採後の植栽方法を明記した造林届出書の提出が義務付けられております。

平成22年度の造林届出書の提出状況については、市内業者などから12件、面積8・71ヘクタール、市外業者から7件、面積15・71ヘクタール、県外業者から10件、面積24・98ヘクタール、合計で29件、49・4ヘクタールとなっています。

しかしながら、最近では無届けによる伐採も見受けられるようになり、無届け伐採については、許可者による指導勧告が行われ、その勧告にも従わない場合は、刑事告発および100万円以下の罰金が課せられます。

今回、従来の30万円以下の罰金から厳罰化され、無届け伐採や植栽の不履行に大きな抑止力となると考えます。

農業振興について

～平成24年6月議会に予算を提案～

質 人・農地プラン（地域農業マスタープラン）の取り組み状況について

答 産業経済部長

国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画が決定されました。

その中で、人・農地プランは、人と農地の問題を解決するためのマスタープランの原案を、集落・地域における話し合いによって、今後の中心となる経営体は誰か、中心となる経営体へどうやって農地を集めるかといった地域農業の在り方などを決めていただきます。

特に、土地利用型農業では、「地域での徹底的な話し合いを通じた合意形成により、平地で20～30ヘクタール、中山間地で10～20ヘクタールの規模の経営体がおおむねを占める構造を目指す」ものであります。

この取り組みには、集落全員の協力と合意が必要であり、多大な人員と時間を費やして行わねばならないと考えています。

頑張れ、市民病院

～ 看護部を中心に接遇努力 ～

渡辺一文

質 市民病院の入院患者の1年間の完治率を問う。

また、一部の看護師で態度や礼儀があまり良くないと耳にするが、なぜか。

答 病院事業管理者

完治率ではございませんが、入院患者が改善し退院した数を率で見ますと、全体で平成21年度は93・4％、平成22年度は92・9％となっています。

平成22年度の疾病ごとの退院率を見ますと、肺炎などの呼吸器疾患78・9％、新生物84・2％、消化器疾患98・1％、循環器疾患86・1％、糖尿病などの内分泌疾患98・1％となっています。

病院での入院患者の疾病分類、疾病ごとの死亡者数などの情報は、診療録管理室を中心にデータを収集し分析しており、院内がん登録も平成22年度から行い、がん患者の状況の把握を始めているところです。

完治率につきましては、病院の質を考える重要なものでありますので、治療効果を判断する基準を設けて、データを収集してまいります。

また、看護師の態度や礼儀についてでございますが、病を患い、不安な思いで受診に来られた患者に、少しでも不安を和らげてもらえるよう、親切で優しく対応する接遇は、医療サービスの中で、診療の質にも勝るとも劣らない要件でありますので、統合後から、看護部を中心に接遇について重点的に取り組んでまいりました。

引き続き、運営会議、接遇会議、患者サービス委員会などを通じて、指導してまいります。

豊後大野市民病院

※その他の質問
・上水道について
・平成23年産水稲について